会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（芹沢久組自治会）
2　日時	平成 30 年 6 月 24 日（日）9：00～10：00
3　場所	芹沢久組自治会館
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、下舞主任 （環境事業センター）小俣担当課長、和田主事、森川技能労務統括主査、石井技能労務統括主査、石井技能労務員 （芹沢久組自治会）参加人数：24 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化の方向性を伺いたい。県からの指示かどうか。 →有料化の方向性は未定である。県からの指示ではなく、市で検討中である。 ●分別の大切さが伝わってこない。収集の様子などを映像で伝えるなど広報に力を入れて欲しい、また、地域間の不公平感の配慮をしてほしい。芹沢久組は落ち葉が多い地域なのでごみ袋の無料配布などを行ってもらいたい。 →映像の件は検討中である。啓発活動は広報紙や施設見学を行っている。地域特性については検討中である。また、剪定枝の資源化や使用済小型家電の品目拡大などを検討中である。地域清掃は今後も無料で対応することを検討中である。 ●袋代があがってしまうのか。竹林が多いが有料になってしまうのか。 →袋代は２円/L を検討中である。竹林などは燃やせるごみではなく資源化にむけて経費負担がかからない方向で検討中である。 ●有料化した後に戸別収集を行う予定なのか。 →まだ決まっていない状況である。有料化の収入は施設整備のため基金への積み立てを検討中である。戸別収集は莫大な費用を要し、藤沢市では赤字になっている。今年度中にデータを試算し、来年度中に方向性を決める予定である。 ●地域清掃ごみや子育て世帯等への配慮はどうなっているのか。オムツなど。 →落ち葉や枯葉、オムツなどへの配慮は検討中である。 ●次の意見交換会はいつの予定なのか。 →来年度の平成３１年度初頭を検討中である。 以上